

相談室（４）

Q 進路選択で、「５教科型にした方が選択肢が広くて有利」と言われたのですが。

A 君は文系志望ですね。

３教科型にすると、センター試験で数学と理科を課す国公立大学の二次試験は受験できなくなります。

したがって、言われる通り、５教科型にしておいた方が、選択肢だけは（選択肢だけはですよ）広くなります。

しかし、それが有利にはたらくのは、センター試験で数学と理科を含めた５教科、予定通りの点数が取れた場合です。

センター試験での国公立大学の最低ラインは、今君が想像している以上に高いですから、点数がそのラインに届かなければ、

センター試験は５教科型で受験したが、合計点が足りず二次試験は出願できる国公立大学

がない！

という悲惨な結果になってしまいます。

それ以前に、君にとって最大の負担は、数学と理科を選択すれば、当然ですが定期テストにこの２教科が入ってくることです。

おそらく、この２教科は苦手意識があるのでしょうかね。

その状態で高３になって、いやいや勉強したところで、時間は取られ、わからない、変更はさせてくれないで、結局この２教科が君の目指す３教科の足を引っ張ることになるでしょう。

３教科型でも、センター試験は受験できます。

数は少なくなります、３教科型で出願できる国公立大学もあります。

私立文系も、センター試験の得点だけで合否が決まる大学もあります。

また、私立大学は、センター試験がダメでも、本試験があります。

しかし、教科数が少ないぶん、得点率はかなり高くなりますので、早目に３教科に絞った方が得策ではないかと思います。

君は私文も視野に入れているようですから、３教科型なら私立

文系と同じです、３教科とも私文対策を中心に進めれば、センター試験でも通用するでしょう。

そして、何よりも、センター試験で 300 点もの配点がある数学と理科を勉強しなくてもいいことになれば、君の負担がかなり軽減されるはずです。

あとは自分で判断してください。

Q 子供が高校を休みがちで、部屋にこもっています。

A 文面から判断しますと、お子さんなりに頑張った、でももう疲れたということではないでしょうか。

お子さんの高校は県内でもトップレベルの進学校ですから、上位の成績を取るのは大変ですし、少し気を緩めると、アツという間に下位へ追いやられてしまいます。

お母さんをご不満かもしれませんが、学年で真ん中ぐらいの成績ならば大健闘でしょうし、評価してあげていいと思います。

ただ、それが、なんとなく適当にやっつての結果ならば、それほどダメージを受けることもなかったのでしょうし、「まだ本気じゃないから」と心のゆとりももてたでしょうが、お子さんは入学時から真面目に取り組んでいたようですから、

「やってもやっても成績が上がらない。自分はここまでか」
そう考えてしまったのでしょう。

学校に行けば、適当にやっているように見えてもあっさり上位の成績を取る子もいますし、成績はもうあきらめて高校生活を楽しんでいる子もいます。

そんな環境で毎日 10 時間近く過ごしていると、ただ真面目に生きている自分がバカバカしくなったり、惨めになったりすることは容易に想像できますし、それが積み重なると、少し忍耐強い子でも耐えられなくなるでしょう。

私は心の専門医ではありませんので、あずかった子供たちを通しての経験からしかお話できませんが、お子さんのようなタイプは、親の期待、周囲の目を痛いほど気にしながら生きていることが多いようです。

優等生であり続けなければいけない、これほどの負担はないと思います。

たとえ親子でも、子供の心は本人にしかわからないでしょうから、なんとか立て直そう、早く学校へ行くように仕向けようではなく、普通の会話、今まで通りの親子の会話をされたらいいかと思います。

何よりも、「親の期待を裏切った」と感じさせないことが大切だと思いますし、お母さんもお辛いでしょうが、受けとめてあげるのはお母さん以外には存在しないと思います。
頑張ってください。

Q 大学まで行かせたいが、今の成績では無理だと思う。

A お子さんはお一人のようですし、経済的にも普通のご家庭、しかもまだ中学生ですから、失礼な表現になりますが、行ける範囲で十分ということであれば、大学進学は可能です。

高校経由で大学に進学するパターンは、おおざっぱにまとめますと以下のようになります。

- ① 普通科高校へ進学し、一般入試、推薦入試を利用する。
- ② 工業高校・商業高校へ進学し、トップクラスの内申点（通知表です）を取って、推薦入試を利用する。
- ③ 比較的易しい私立の普通科高校に進学し、推薦入試を利用する。
- ④ 大学まである私立の付属高校に進学し、付属校推薦を利用する。

①について

- ・一般入試を利用する場合

内申点は参考程度で、学力だけの受験ですから、一番過酷でしょう。

上位の進学校では、大半の生徒がこのパターンですが、希望通りの大学へ進学できる割合は少ないです。

- ・推薦・指定校推薦を利用する場合

公立では高校のレベルによってかなりの格差が生じますし、選択肢も少ないですが、私立の場合は、医療系・短大まで幅広い選択肢があるところが多く、一般入試ではとても無理な大学への進学も可能なことがあります。

②について

数的にはかなり少ないですが、工業系・商業系はこのパターンでの大学進学以外の道はほとんどありませんし、一般入試では、かなり厳しいでしょう。

高校でトップクラスの成績を取って内申点（通知表です）をしっかりと確保しなければいけません。課外等の余分な負担がほとんどありませんので、充実した高校生活が送れると思います。

③について

高い大学や国公立大学はほとんど無理ですが、短大・医療看護系まで、かなり幅広い選択肢があります。

このパターンで大学へ進学した子が、トップレベルの進学校出身の子（こちらは一般入試）と同じ大学になったりすることも多々あります。

④について

入学後、三年間真面目にやれば、だいたい付属校推薦で大学へ進学できます。

中には、高校はそれほどのレベルではありませんが、大学はそこそのレベルの所もあります。

お子さんの場合、一般入試での大学進学はかなり厳しいと思われますので、③か④が理想的かと思いますが、確実にということであれば、④が安全だと思います。

高校入試も、推薦・専願制度を利用すれば、少しハードルが低くなりますし、3教科型も多いですから、「無理はさせたくない」と仰るご意向に合っているかと思います。